

種目【家庭科】

項目	書名	2 東書
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小題材（ステップ）に「めあて」とそれに対応した「振り返ろう」が設けてあり、学習のねらいが明確になり、振り返りによって学習内容の定着が確かめられる工夫がある。各技能実習の最後には、「できたかな？」の欄があり、自己評価で振り返りができる。 ○生活に必要な基礎的・基本的知識及び技能を「いつも確かめよう」にまとめ、児童自らが確認できるよう工夫されている。 ○技能の習得ができるようイラストや写真で丁寧に説明している。実物大の写真に掲載したり、実習例の写真が多用され手順がわかりやすく示されたりしている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全ての題材が「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3つのステップで展開され、課題の解決に向けて考え、表現できるように構成されている。 ○「話し合おう」「調べよう」などのコーナーがあり、思考力を高め、主体的・対話的な学習が進められるようになっている。 ○児童の思考を深めるような言葉を、吹き出しを使って投げかけている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大題材ごとに「家庭科の窓」で家庭科の見方・考え方を示し、生活を見つめる視点を明確にし、生活をより良く工夫する資質能力を育成できるように構成されている。 ○「生活を変えるチャンス」のコーナーが設定され、それまでの学習を生かしてできる取り組み例やまとめ方の例を示し、学習を生活へ生かす工夫がされている。実践の進め方が示され、児童が家庭、地域で安心して取り組めるようになっている。 <p>＜実践的・体験的な活動の工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「図」のマークを使って学習を深める資料や写真等が示され、実感を伴って理解できるような工夫がされている。 ○題材の最後に、「深めよう」や「トライカード」が示され、題材を通して学んだことを実生活につなげていくような問いかけや課題設定が工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末に「いつも確かめよう」の拡大版がまとめて収録されていて、基礎的・基本的な知識や技能を必要な時にいつでも確認できる。左き用の資料も提示されている。 ○「日本の伝統」では、日本の伝統的な食文化や生活文化に関する内容、「プロに聞く！」では、キャリア教育と関連させて学習内容と仕事とのつながりを資料として収録している。 ○家庭科に関する用語の説明や、家庭科に関係のある言葉の英単語が掲載されている。 ○「Dマーク」が示され、インターネットにつなげることにより、動画を活用して、基本技能を確認できるように工夫されている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○「安全」「環境」など、多くの記号やマークを活用してあり、様々な知識を得たり、活動の参考にしたりできるようになっている。 ○ユニバーサルデザインの考えを採用し、色彩や字体への配慮、大きなイラストや写真が掲載されている。 ○学習内容別にマークや色を設定し、系統性が可視化できるように工夫されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてをもって学習し、振り返りながら学習を深め、家庭での実践・評価へとつなげられるような配列に工夫されている。問題解決的に学習が進められるよう、全ての題材が3つのステップで展開されている。 ○経験の少ない児童でも実習や活動が行いやすいよう、イラストや写真で丁寧に説明している。教科書がA4サイズで大きく、資料や写真なども豊富である。 ○学習したことを実生活で実践できるように、新しい課題の提示や取り組み例などを効果的に掲載している。 	

種目【家庭科】

書名 項目	わたしたちの家庭科	9 開隆堂
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○基礎的・基本的な知識技能が身に付けられるよう、スモールステップで平易なものから難しいものへと学習を積み重ねられるよう工夫されている。 ○「学習のめあて」「できたかな」「ふり返ろう」が記載され、学習の内容を確かめながら習得できるようになっている。 ○活動や実践における基礎的な内容や実習の手順が、写真や図を使ってわかりやすく示されている。実習の手順は、活動をイメージしやすいように写真や図が配置されている。巻末に大きな写真とともに用具の使い方が示されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○題材の始めに「なぜ～するのだろうか」等の問いかけがあり、日頃の生活の中に課題を見つけ解決していけるよう構成されている。 ○全ての題材が「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つのプロセスで構成され、児童が主体的に考え課題を解決していけるようになっている。 ○「調べよう」「話し合おう」「考えよう」「まとめよう」という課題の投げかけにより、児童が関心を持ち、自ら課題を見つけ、考え、表現できるようになっている。ワークシートが記載されているものもあり、思考や表現の手助けになる。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○家庭科の学習に取り組む際に必要な「生活の見方・考え方」の4つの視点を示し、各題材がどの視点の学習につながるのかを意識して学習できるようになっている。 ○「レッツトライ 生活の課題と実践」では、家庭や地域、学校で実践する際の流れがステップで示され、児童が見通しをもって効果的な実践をしていけるようになっている。 </p> <p> <実践的・体験的な活動の工夫> ○題材の最後には「振り返ろう」「生活に生かそう」が設定され、学習を振り返りどのように生かしてみたいかを記述できるようになっている。 ○「チャレンジコーナー」を設定し、学習したことを家庭実践につなげられるよう工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○題材の導入に大きな写真や絵が配置されており、興味関心を引き出したり、ねらいを印象付けたりする工夫がされている。 ○後ろ折込のページや裏表紙には、家庭科学習でよく使われる用語、調理用具の名前、調理に必要な技能の名前等が収載されていて、知識の習得や家庭での実践に生かせる。 ○様々な職業の人や人生の先輩からのメッセージ等、キャリア教育の視点に立った資料が掲載されている。日本の伝統文化とつながる資料も掲載されている。 ○「QRコード」により実習に必要な技能が動画で確認できるようになっている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○文字の色がはっきりしていて、書体も見やすい。キーワードは太字で表記されている。 ○「安全」「環境」「参考」「関連」など、学習に関連する様々な内容をマークで表記し、学習内容へ効果的に関連付けている。 ○大題材のタイトルが5年生と6年生で色分けされたり、「家族・家庭生活」「食生活」「住生活」「消費生活・環境」の内容ごとに色分けしたつめ見出しがつけられている。 </p>	
総 括	<p> ○「生活の見方・考え方 4つの視点」が示され、「生活」から課題を発見し、解決していくという構成になっている。キャラクターが児童に投げかける形で、題材がどの視点につながるかを意識しながら学習を進められるようになっている。 ○各題材が課題解決のための3つのプロセスに沿って学習が進むように構成され、児童が知識技能を生かし主体的に考え工夫していけるようにしている。 ○簡単なものから積み重ねていけるような配列の工夫がされている。スモールステップで学習が進むように題材が細かく分けて配列されている。 </p>	